

指導者	松本 宗久	日時	平成 16 年 6 月 25 日 (金) 第 6 時限
科目	情報 B	学級	2 年 6 組 男子 17 名, 女子 13 名 計 30 名
教科書	実教出版	テーマ	Rubric を用いた自己評価
参考図書	日本文教出版 : Rubric Chart 教科「情報」の実習で使える評価支援ソフト ICT-Education No.21 P.14- 評価支援ソフト” Rubric Chart”の利用について		

1. 単元名

- ・ マルチメディア作品の制作実習 (実際は情報 A の分野)

2. 単元目標

- ・ マルチメディアを利用した作品を制作することで、紙媒体とは異なった表現方法が使用できることについて学ぶ。

3. 本時の指導計画

- ・ 製作課題に対し自己評価を行い、ある程度自分で作品の出来を判断できる能力をもつ。

4. 本時の展開

	学習内容	指導手順	指導上の留意点
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製作課題の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制作したプレゼンテーションファイルの内容を再確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルが存在しない場合の仮使用ファイルも用意しておく。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価を行ってみる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Rubric Chart をプレゼンターに提示し、これから自己評価を行う事を説明する。 ・ Rubric Chart を開き、自分の入力できるかどうかを確認 ・ 制作したプレゼンテーションソフトを見ながら、自己評価を行っていく。 ・ 入力が完了したら、Chart の登録・印刷を行なう。 ・ HTML ファイルを自動起動 用意された VBB にアクセス。 自己評価を行った感想を書き込む。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ、皆に一回でわかるように説明する。 ・ 関係ない Web ページを見るなどの授業に関係ない行動をとらないように常に巡視を行なう。 ・ もし、自分の入力ができなかった時のために、予備の入力候補を用意しておく。 ・ VBB にアクセスできない時は随時、挙手による質問を行なう。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価に対する分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登録された、Chart をもとにクラス内での評価に対する分析を行なう。 ・ 時間があれば再度 VBB に意見の書き込みを行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分析内容が生徒に伝わるように気をつける。